



県内の市民活動 イベントのスケジュール

8月～9月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

今月は9件あります。気になるテーマがあればぜひ、足を運んでみてください。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。今月号は6件の情報を掲載しています。

各地のネットワークから

県内各地のネットワークから届いた「生の声」です。さまざまな情報や近況を知ることができます。

NPOリレーインタビュー

特定非営利活動法人 久居市子育て支援ネットワークNPOどんと 佐橋俊美さん

お腹の中の赤ちゃんから、18歳までは「子ども」。そんな子どもたちと、子育てに奮闘する家族を支援する活動を行っている「久居市子育て支援ネットワークNPOどんと」の代表が佐橋さんです。

特定非営利活動法人申請は4団体ありました。

NPOチームでは、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPOチーム及び、各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(平成14年8月15日現在申請数141(解散法人2を除く)、認証数132)

(1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種別、(7)定款に記載された目的。

(1)さわやか (2)平成14年7月22日 (3)坊野 稔
(4)四日市市西町8番2号 (5)平成14年9月22日まで
(6)設立 (7)この法人は、少子高齢化が進む社会で、日々不便な生活を強いられているハンディを持ったすべての人々が、普通の市民生活が出来、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう必要なサービス活動を行い、成熟したまちづくりに寄与することを目的とする。

(1)三重花菖蒲ハンドボールクラブ (2)平成14年8月1日
(3)向井弘光 (4)鈴鹿市御園町1669番地 (5)平成14年10月1日まで (6)設立 (7)この法人は、スポーツの普及、啓発に基づく明るい社会の実現のために、スポーツ愛好者及び青少年に対する、ハンドボールを始めとした各種競技の普及並びにスポーツ競技者の育成強化に関する事業を行い、スポーツの振興を通じた健全な社会づくりに寄与することを目的とする。

(1)G.C.S.japan.Association (2)平成14年8月1日
(3)岸川真也 (4)安芸郡美里村大字三郷588番地
(5)平成14年10月1日まで (6)設立 (7)この法人は、一般の人々に対して、健康、スポーツ、環境に関する事業を行い、グリーンキーパー及びトレーナーの社会的地位の向上並びに地域社会への貢献による国民の健康増進、スポーツの振興、環境の保全に寄与することを目的とする。

(1)緑のネットワークみえ・自然環境創造協会 (2)平成14年8月9日
(3)久米宏毅 (4)鈴鹿市住吉1丁目13番1号
(5)平成14年10月9日まで (6)設立 (7)この法人は、多様な自然が真善美の人間性を育み、産業や地域づくりが自然と深く関わっていることに鑑み、知恵ある者は知恵を、技能ある者は技能を、資産ある者は資産を提供しあって、自然環境の保全活動や創造活動のセンター機能を担い、もって豊かで美しい自然環境の創造に寄与することを目的とする。
(平成14年7月16日～平成14年8月15日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)
特定非営利活動法人人権ネットワークやはた
(平成14年7月16日)
特定非営利活動法人多度自然育成の会(平成14年6月12日)
(平成14年7月16日から平成14年8月15日届出分)

◆発行◆

514-0009
津市羽所町 700 番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail open@mienpo.net
県NPOチームホームページ
http://www.mienpo.net/
三重県のホームページ
http://www.pref.mie.jp

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバス3階)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市西町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考案みなと(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート 赤目の森(名張市上三谷268-1)

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/三重県労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/富貴歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

イベントスケジュール

みえ市民活動ネットワークフォーラム

三重の市民活動ネットワークでひらく可能性

～3ヶ月間の試験運用をふりかえって～

- とき／8月31日(土)PM2:00～PM5:00
- 参加費／300円
- ところ／みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700 アスト津3階)
- 内容／6月1日から3ヶ月間、メーリングリスト試験運用を行っている「みえ市民活動ネットワーク」は多くの人たちがゆるやかにつながることさまざまな可能性を見せています。8月15日までにメーリングリストでは520本の活発なやりとりがあり、ホームページに掲載したメンバーの提供情報は72件、アクセスは960カウントを越えました。今回は、試験運用の3ヶ月をふまえ、三重の市民活動ネットワークに期待すること、市民としての戦略、新たな展開方向などについて意見交換を行います。自分たちでつくりだす「三重の市民活動ネットワークでひらく可能性」に関心のある方はご参加ください。なお、フォーラム終了後「パートナーシップ宣言達成のためのプロジェクト」を予定しています。
- 主催・問い合わせ先／みえ市民活動ネットワーク
E-mail mie@miraiwork.jp
ホームページ <http://www.miraiwork.jp/mienpo/index.htm>

三重の産地消「たべごろ」製品の紹介と試食

- とき／9月14日(土)AM10:00～PM3:00
- ところ／みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700 アスト津3階)
- 内容／「たべごろ」は三重県内から集まった農村女性のネットワークです。最近、食について生産者も消費者も共に考え、顔の見える安心・安全な農産物が求められています。そこで今回は「たべごろ」のこだわり農産物や加工品を紹介します。一部旬の農産物や加工品については即売もあります。11・1月にも開催予定。
- 問い合わせ先／農村助成ネットワークたべごろ(代表:佐々木美知代) Tel.0593-74-0721
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~tabegoro/>

～円より子さんを囲んで～男女共同参画条例トーク

- とき／9月15日(日)PM1:30～PM3:30
- ところ／じばさんみえ5階大研修室(近鉄四日市駅前)
- 参加費／500円
- 内容／「カモミール2001」は“女性の目から見た暮らしやすいまちづくり”がテーマの女性グループです。4月からは、四日市市の男女共同参画条例づくりに向けての学習会を月一回ペースで行っています。今回この学習会に女性、高齢、家族問題に詳しい参議院議員の円より子さんを講師に迎え、拡大学習会を催します。事前申込をして参加してください。
- 主催・申込・問い合わせ先／カモミール2001(担当:堀田)
Tel.&Fax.0593-26-8514
- 後援／四日市市、四日市大学

小津安二郎生誕100年記念

三重映画フェスティバル2003キック・オフイベント第2弾

- とき／9月28日(土)AM10:00～PM5:10
- ところ／三重県総合文化センター中ホール(津市)
- 参加費／一般・学生 前売1300円(当日1500円)
- 内容／来年6月に開催する「三重映画フェスティバル2003」を広く県民の皆さんに知ってもらおうと、第8回みえ県民文化祭参加事業の一環として実施します。今回は、世界の小津を「三重県人」と認知してもらうため小津の遺作である『秋刀魚の味』を上映(AM10:40～)するとともに、本年11月2日から全国公開される山田洋次監督初の時代劇『たそがれ清兵衛』を特別上映(PM3:00～)します。当日は山田監督も舞台挨拶(PM2:00～)に来場されます。
- 申込・問い合わせ先／吉村 Tel.059-226-9450
駒谷 Tel.090-3555-0068
田中 Tel.059-293-5791(平日はPM10:00～PM11:00)
ホームページ <http://mie-cinemafesta.net/top.htm>

ネットワークのよびかけ

みんなでつくろう森林公園「モリメイト」募集!

森林公園をもっと楽しく!もっと便利に!もっと安らげる場所に!いろいろな「もっと!」を集めて「みんなの森林公園」に育てる仲間...それが「モリメイト」です。イベントや施設の改善などについて利用者の立場からアイデアを出し合える仲間を大募集!今まで以上にたくさんの方に森林公園を良さを知ってもらい、楽しんで利用してもらえるにはどうしたらいいか、一緒に考えてみましょう。対象は18歳以上で無償で積極的に活動できる方です。

- 募集期間／9月2日(月)～9月20日(金)
- ところ／三重県民の森(菟野町)、三重県上野森林公園(上野市)
- 問い合わせ先／三重県環境部人と自然の環境共生チーム
Tel.059-224-2627 Fax.059-224-2070
E-mail shizen@pref.mie.jp

中山間地域の森林・農地などを活動のフィールドとして環境創造活動を展開される市民団体などの方へ 三重県型デカップリング市町村総合支援事業(平成14～16年度)

- 申請期間／14年度…6月と9月、15・16年度…4月と7月
- 事業内容／中山間地域の農林地等の公益的機能の維持増進を目的として、アクションプランを策定した市町村が地域の実情に応じて、多様な農林地等の管理活動主体や雇用を伴う地域産業の育成確保など、創意工夫しながら創設した事業(市町村事業)の実施に対して、その経費の一部を補助します。
- 総合支援事業実施主体／別に定める中山間地域の市町村(全城市町村29、一部地域市町村23)
- 県補助率／市町村が創設実施する事業の補助対象経費の4/10以内(市町村義務負担1/10以上)
- 【農林地等適正管理活動促進支援】
- 活動主体／市民団体、集落、第3セクター、農林漁業者の団体等
- 事業例やその内容／『多様な活動主体による農林地等適正管理活動の支援』例)森林・棚田等ボランティア管理促進事業、農林労働補完促進事業(有償ボランティア、緑の雇用事業補完)、森林・農地活動フィールド設置事業、市民農園整備事業
- 『都市と中山間地域との交流による都市住民への公益的機能の理解促進と次代につながる管理活動への支援など』例)農山村集落グリーンツーリズム受入促進事業、農山村交流促進事業(農山村留学受入、農作業体験イベント実施)
- 問い合わせ先／三重県地域振興部地域振興チーム(担当:近田)
Tel.059-224-2420 ホームページ <http://www.pref.mie.jp/chiki/moyooshi/index.htm>

「食」をテーマに活動していただく団体等を募集します!

- 三重県では、食を切り口とした健康づくりにつながる地域に根ざした活動や、昨年度、三重県で作成した「みえの食生活指針」を広く県民の皆さんに普及啓発していただくための活動を募集しています。
- 募集締切／9月17日(火)
- 対象者／食に関する活動を行っている、または、これから行おうとする団体等(一部条件有)
- 活動期間／平成14年10月1日頃～平成15年3月10日
- 活動内容及び委託金額／各事業毎に定める活動内容の条件に基づき、県から委託を行います。応募方法や内容の詳細については、住所地の各県民局保健福祉部下記担当にご確認ください。
- 【元気な人、街、地域づくり活動】(上限30万円 9団体)
例)栄養成分表示に関する講習会や栄養成分表示の店の展開・地域での食育活動・商店街等での食生活アドバイスや健康相談など
- 【みえの食生活指針普及活動】(上限25万 9団体)
例)食生活指針実践事例の講習会など
- 【食生活ボランティアイキイキ活動】(上限20万 4団体)
例)地域での食生活状況調査や食生活改善に関する講習会など
- 問い合わせ先／
桑名保健福祉部(担当:井上) Tel.0594-24-3754
四日市保健福祉部(担当:坂下・村山) Tel.0593-52-0594
鈴鹿保健福祉部(担当:尾西) Tel.0593-82-8672
津保健福祉部(担当:土井・松田) Tel.059-223-5115
松阪保健福祉部(担当:森下) Tel.0598-50-0531
南勢志摩保健福祉部(担当:大川) Tel.0596-27-5136
伊賀保健福祉部(担当:喜田) Tel.0595-24-8076

助成金 ニュース

三重ボランティア基金助成団体募集

- 受付締切/9月17日(火)
- 助成の対象となる団体/現在、県内各市町村社会福祉協議会にボランティア団体として登録され、計画的・継続的に地域の高齢者や障害者・児童に対する支援を行っている団体。
- 助成の対象事業と助成限度額/ボランティア活動の技術や知識の向上等充実を図るための研修費、ボランティア活動の参加促進を図るための啓発事業費、以上の活動に必要な資材・器具等の購入費…県域団体は1団体15万円以内、地域団体は1団体10万円以内。
- ボランティア活動団体の基盤を整えるために必要な器材・器具の助成(1団体1回のみ)…限度額30万円以内。
- 平成15年度実施ボランティア活動資金助成金(平成14年申請・平成15年配分)先駆的・モデル的(福祉のまちづくり)な活動経費…限度額50万円以内
- 応募方法/各市町村の社会福祉協議会を通じて、三重ボランティア基金事務局あてに所定の交付申請書を提出。
- 問い合わせ先/(財)三重ボランティア基金事務局 津市桜橋2丁目131番地 Tel.059-227-9994

Microsoft giving NPO支援プログラム 「情報がつながる人のきずな」

- 受付締切/9月15日(日)
- 助成の対象となる団体/日本国内で活動するNPO(法人格の有無や種類は問わないが、1年以上の活動実績を有し、基本的なITの使用が可能なおこと)
- 助成の対象となる活動/ITの活用によって人と人をつなぐNPOが行うにふさわしい市民活動で、次のような内容のものを助成の対象とします。
「みんなが支え合う暮らし」をめざす活動、「社会的な課題の解決」をめざす活動、「豊かな夢のある生活」をめざす活動
- 助成の額/1件あたり300万円以内、総額2000万円
- 応募方法/下記のホームページから応募用紙をダウンロードしてください。
- 問い合わせ先/日本NPOセンター「マイクロソフトプログラム」係
100-0006 東京都千代田区有楽町1-8-1 日比谷パークビル410
Tel.03-5220-3911 Fax.03-5220-3912
ホームページ <http://www.jnpoc.ne.jp>

公益信託 サントリー愛鳥基金

- 受付締切/9月20日(金)必着
- 助成の対象となる団体/自然環境の保全のため野生動物の保護・繁殖に関する業務を行うことを主たる目的とする法人または任意団体。県の鳥獣保護担当部署または国立公園・自然保護事務所より推薦を受けることができる程度の活動を期待。
- 助成の額/総額1000万円の予定。
- 応募方法/所定の申請用紙が必要。下記まで請求を。
- 問い合わせ先/中央三井信託銀行日本橋営業第一公益信託課(担当:仲村) 103-8323 東京都中央区日本橋室町2-1-1
Tel.03-3277-7498 Fax.03-3279-4522

日本財団 アジア・フェロウシップ (APIフェロウシップ)2003~2004年度募集

- 受付締切/9月27日(金)
- 助成の対象/API参加国(インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、タイ)の出身または永住権をもち、APIフェロウシップ応募時にAPI参加国に居住していること。在外活動に必要な英語力を有すること。フェロウシップ期間が6ヶ月以上の応募者は、2003年6月1日から12月31日の間に、提案した研究・交流活動を行うために居住国を離れることができること。フェロウシップ期間が6ヶ月未満の応募者は、2003年6月1日から2004年5月31日の間に、提案した研究・交流活動を行うために居住国を離れることができること。
- 【API シニア・フェロウシップ】
学術、ジャーナリズム、ビジネス、国家・地方行政、NGO/NPO、文筆・評論、芸術など、さまざまな分野において現在活躍中であり、自らの専門分野で卓越した業績と経験をもつ、公共領域で活動する知識人(パブリック・インテリゲンチアル)であり、かつ下記の条件をみたすこと。
35歳以上であること/出身国(居住国)以外のAPI参加国で、活動・交流活動に従事できる能力と経験を有すること/提案した研究・交流活動は、出身国・居住国以外のAPI参加国で行うこと/提案した研究・交流活動を1~12カ月の間、継続して行うこと/APIフェロウシップの研究・交流活動の成果を広く社会に還元する能力・影響力・手段を有すること。
- 【API ジュニア・フェロウシップ】
今後の活躍が期待できる若手の人材に対して、専門を深めるとともに、その

キャリア形成時期に地域的な知的ネットワークをつくる機会を与えることを目的とし、下記の条件をみたす者を対象とします。

35歳未満であること(例外を認めることがあります)/出身国・居住国以外のAPI参加国で、提案した研究・交流活動に取り組むこと能力と意欲を備えていること/将来、その専門分野において大きな貢献のできる可能性を有すること/提案した研究・交流活動を、4~12カ月の間、継続して行うこと/提案した研究・交流活動は、出身国・居住国以外のAPI参加国のうち1カ国または2カ国で行うこと。

- 研究・交流活動テーマ/大きく3つのテーマが定められています。具体的な企画のテーマは、ここに挙げた例に限定する必要はありません。
『アイデンティティの変容とその社会的、歴史的、文化的背景』…(例)地域・国家アイデンティティ形成における歴史的記憶、文化的多数派と少数派の形成、メディアと芸術の役割、文化的多様性、ジェンダー・宗教・階級の役割、など。
『人類が直面する社会的課題と社会正義の考察』…(例)政治的権利の分配、経済・人的安全保障、社会変革のマネジメント、中央と周辺、環境と人間、など。
『グローバル化の現状とその課題』…(例)経済統合が国家や社会に与える影響、人と資本の移動、国境の役割の変容、自立の意味、文化の商品化、グローバル化時代の市民社会、など。
- 応募方法/応募先は応募者の居住国にあるAPIパートナー機関。日本の場合は下記の京都大学東南アジア研究センターです。応募書類は「推薦状」を除いてすべて英語で作成し、郵送またはホームページよりオンラインで応募してください。詳細は下記のホームページ参照。
- 問い合わせ先/京都大学東南アジア研究センター 606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 Tel.075-753-7348 Fax.075-753-7350 E-mail api-ml@cseas.kyoto-u.ac.jp
ホームページ(日本語)<http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/api/>
(英語)<http://www.ikmas.ukm.my/api/>

(財)国際コミュニケーション基金

- 受付期間/10月1日(火)~10月18日(金)必着
- 【1. 調査研究助成】
●助成の対象となる活動/国際分野を主軸とし、また国内も含めた通信の普及・発展、グローバル化、特にマルチメディア時代を先取りする調査、研究(法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの)。但し、通信事業者などの本来業務に該当するものは対象外とします。なお、助成・援助の申込者は個人の場合調査研究者本人、グループの場合代表者。
- 対象事業の期間/調査研究が平成15年4月以降に開始され、平成18年3月までに終了のもの。
- 助成の額/1件あたり300万円まで、15件程度。
- 【2. 国際会議開催助成】
●助成の対象となる活動/通信の普及・発展に寄与する国際会議。
- 対象事業の期間/平成15年4月~平成16年9月
- 助成の額/1件あたり100万円まで、10件程度。
- 【3. 社会的・文化的諸活動助成】
●助成の対象となる活動/情報化社会の動向に即し、電気通信を通じて社会や教育などに貢献する各種の非営利団体(NPO)、非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など。
- 対象事業の期間/平成15年4月~平成16年9月
- 助成の額/1件あたり100万円まで、10件程度。
- 応募方法/申込書は下記へ申込み、ホームページからダウンロード。
- 問い合わせ先/(財)国際コミュニケーション基金 163-0907 東京都新宿区西新宿2-3-1 モリスビル7階(私書箱第7003号) Tel.03-3347-7094 Fax.03-3347-6439 E-mail info@icf.or.jp
ホームページ <http://www.icf.or.jp>

(財)ポーラ伝統文化振興財団

- 受付締切/10月31日()消印有効
- 助成の対象となる団体/一個人・団体につき一件の申請に限定。団体の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることが原則。
- 助成の対象となる活動/伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能及び行事など、日本の無形の伝統文化財の記録や研究、保存・伝承活動において、有効な成果が期待できる事業に対し補助的な援助を行います。
- 対象事業の期間/通常は当財団の一事業年度単位(4月1日~翌年3月31日までの1年間)。条件により長期にわたる場合も。
- 助成の額/1件あたり30万円程度から200万円程度。ただし、条件により2~3年の分割とする場合があります。
- 応募方法/財団所定の申請用紙に記入後、書留にて送付。
- 問い合わせ先/(財)ポーラ伝統文化振興財団 104-0061 東京都中央区銀座1-7-7 Tel.03-3561-7408 Fax.03-3561-7480
ホームページ <http://www.polaculture.jp>



北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと
辻本晴美

harutuji@m2.cty-net.ne.jp(7/1よりアドレス変更致しました)

「ちょっと変わった催しやりました」

香りいっぱい、黄ウリ、いぼいぼのキュウリ、もちっとしたとろろこし、今では手に入りにくいつかしの個性ある品種が以前はたくさんあったそうです。近年、そうした各地の伝統的な栽培植物多様性を守る“Seed Savers”（種を守る人々）の活動が注目されるようになってきました。

7月24日、地域づくり考房みなとでは、その活動で世界でも先駆的な、オーストラリア“THE SEEDSAVERS’ NETWORK”（シードセイバーズネットワーク）のミシェル・ファントン氏を講師として招き、お話をうかがいました。

化にマッチして多様さをうみだすものです。その土地から離れてはその良さが失われることもあります。また毎年栽培されることで、その気候を敏感に感じ取り、進化することもあります。

「農耕生活何千年の歴史の中で、種を買うようになったのは、ごく最近の話です。それまでは自然選択によって、または人がよりよい品種を選抜し、次の世代へと種子、技術、知恵、文化を受け継いできました。その種子を失うことはそうした伝統的な技術、知恵、文化をも失うことにつながります。」また、自分でその品種の種子を採種することは、個人的な理由のほか、大企業による独占を許さない、遺伝子組み換え種子を回避できるなど社会面、安全性、健康面、環境面、への問題解決にもなります。



どうやって守っていくか

実際の採種方法や保管の方法も学びました。「各地で採りつづけることが大切ですが一人では大変な作業です。各地の自家採種仲間をつくって、分担して採種し、交換し合ひましょう。」ミシェルさんはスライドで、オーストラリア国内や海外ソロモン諸島、トンガ王国、カンボジア、キューバでたくさんの方が協力して保全活動をしている様子を紹介してくれました。

日本の役割

トーク後、「日本は海外から大量に食糧を輸入している国であり、また第三世界への農業支援なども行っています。ほかの国に与える影響が大きいのです。」と日本の可能性に期待していました。

当日は20人ほどの参加でしたが、ほとんどの方が懇親会まで残り、質問を続けてみえました。

三重県にはどんな品種があったのでしょうか。伝統的な野菜、穀物の品種やそれに関わる情報をもっているのは今70代以上の方だと思えます。まずは受け継ぎ、それをさらに遺していきたいですね。

参考：オーストラリア 「THE SEEDSAVERS’ NETWORK」

<http://www.seedsavers.net/index.html>



タイトルは「育てて守ろう、みんなの種！」…海外NPOオーストラリア「THE SEED SAVERS’ NETWORK」に学ぶ
Conserving and using agricultural biodiversity with communities

背景

野生の動植物のレッドデータブックが出版され、多様性の減少は知られていますが、実は人が栽培して生活に根ざしている栽培植物も多様性が失われているのです。（世界で1985年以降1年約1%減）

戦後私たちの生活が大きく変化し、全国どのスーパーの棚に並ぶ野菜も、例えば大根は青首大根だけというように品種が限られ、その並んでいる姿から同じ大きさ、色、形のものが増えていることに気づきます。箱詰め、長距離輸送、加工にも都合のいいように、改良され、農家は改良された均一な品種を買うようになり、その一方で、各地の個性ある品種は田畑からも、台所からも姿を消していきました。

第三世界でも、輸出用換金作物が奨励され、キャサバ、サトウキビ、バナナなど大規模に生産し、片や西洋風の食文化が導入され、地元で食べてきた伝統食、伝統食材を失う傾向にあります。

なぜ自家採種を?

多様性の保全は十数年前から国際機関や国の研究機関がかかわり、世界各地から種子を含む遺伝子資源を集め、遺伝子銀行に冷蔵、冷凍で長期保存しています。それでもシードセイバーズネットワークでは民間で、各土地で毎年種をまき、栽培することを大切にしました。オーストラリア全土の数千もの農家、菜園家個人やグループと協力して、現在までに6000品種の保存をしてきました。遺伝子銀行は誰のためのものでしょう?本当に必要としている貧農には行き渡らないのです。品種はその土地の気候、風土、食文

鳥羽地区

鳥羽NPOネットワーク・結

鳥羽市鳥羽1-3-8 Tel.090-1625-9848 Fax.0599-25-1444

E-mail npocenteryui@mac.com

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Apricot/1615/>

とば商店会協同組合の紹介

「こんにちは。鳥羽NPOネットワーク・結です。今号から、鳥羽市を主な舞台に活動している、NPOやそのイベントの紹介を中心にお伝えします。1回目はこちらの紹介から…。

●とば商店会協同組合

今年で創立50周年を迎えるとば商店会協同組合。その名の通り、鳥羽の商店で構成される会です。商店会がNPO!?って感じですが、「単にもの売るだけではなく、地域の方々との心の通じ合う関係構築が目的」と東谷理事長の所信にもあります。

今年は創立50周年記念イベントが目白押しですが、その中でも注目すべきは



応募された壁新聞です。力作!



皆が集まってわいわい開票。



コンピュータ授与式。最多得票は「海っ子」。

「鳥羽を愛するボランティアにコンピュータプレゼント」。鳥羽で活躍するNPO団体に壁新聞作成を呼びかけ、商店会会館に展示。約一ヶ月の展示期間中に会館を訪れた方々に投票をしてもらい、得票数の多かった上位三団体にパソコンをプレゼントするという企画です。壁新聞応募数は13団体、投票数は510票でした。7月16日に行われた開票も、皆で集まってわいわいにぎやかに。参加者から「ぜひ続けていってね!」と商店会へのエールも送られました。

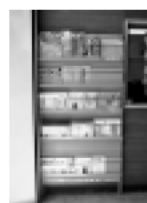
商店会がNPOにも目を向けている、というのが頼もしいでしょ。会館では、チラシラックも備え、「市民活動ニュース」も配布しています。

とば商店会協同組合 / 鳥羽市鳥羽1-3-6

Tel.0599-21-0506 Fax.0599-21-0507

E-mail toba.com@smile.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.tensukun.com>



会館のちらしラック。市民活動ニュースもあります。

■2002夏のイベント舞台裏 神宮奉納宮川花火大会に112名のエコボランティア!

毎年恒例、伊勢市宮川河川敷での「神宮奉納花火大会」が7月13日に開催されました。そして今年はハローボランティアネットワークみえ（ハボネット）が伊勢市との協働でゴミナビゲートボランティアをコーディネートすることに…。
 いろんなイベントでゴミ分別を手がけてきたハボネットも花火大会は今日が初！また、全国の花火会場ではゴミ分別回収はほとんどされていないのが現状で、ボランティアがボランティアの企画やコーディネートから参加するというのも初めて。
 この伊勢の花火大会って実はかなり画期的だったのだ！

きっかけ!

去年の花火大会、伊勢市役所として初めての試みでゴミナビボランティアを募集したところ当日になって3人しか集まらず…

今年は…

今年3月末、去年の事情を知ったハボネットが伊勢市役所に問い合わせ。
 ●9年はどうするんですか?

●事前準備スタート!
 5月頃より伊勢市観光課とハボネットスタッフが打ち合わせを重ね…



●参加申し込みがどくどく!
 募集をしたら県内外からそくそくと参加申し込みがあり、また「A SEED JAPAN」や「ガーディアンエンジェルス関西」も協力してくれることに

●バスがでることだ
 夜のイベントという事もあり、遠くからでも交通手段に困らず参加しやすいようにとボランティアバスも出るようになって受け入れ体制も万端

●それぞれの役割でうまく協働を
 フランチャイズや記者会見などの広報、ボランティアへの事前説明会やゴミ分別の方法など、ハボネットがこれまでのノウハウを活かして企画し、それを伊勢市役所が具体的に進めていった

●7ヶ所にエコステーション設置
 当日花火会場には7ヶ所にエコステーションを設置し、三重県内各地（県外も！）から集まった112名のエコボランティアがゴミナビゲート!

●また来年! ボランティアのみんなも花火満喫!
 バスが遅れたり途中で雨が降って時間が延長されたりと、ラブルもあったけど、メンバーが降り際に嬉したあいさつは「また来年!」でした



結果!

20万人の来場者があり、回収したゴミ全体の量は昨年より増えたにも関わらず、会場内に置き去られたゴミの量はなんと1/5になり、翌朝の回収作業も例年の半分くらゐの時間で終了できました!

●ハボネットさん感想

市という区分を超えて三重県内各地の（そして東京・大阪・京都からも駆けつけた）市民と伊勢市との協働が可能だということ、それから、数万人の人が少しずつ協力してくれたら、こんなすごいことが出来るんだということ。いろんな可能性を見させてくれた花火大会でした。（山本）

■市民&行政の協働スタッフから感想をヒトコト!

●伊勢市役所さん感想

「ハローボランティアネットワークみえの皆さんが、会場内にゴミ分別回収の雰囲気を作ってくれたことで、通路のゴミが去年の5分の1になっていて驚かされました。これからもNPOとの協働で課題に取り組み、環境に配慮したイベントの実現を目指します。

伊賀地区

W.T.A まちづくりセンター情報 (No. 4) 〒518-0867 上里町赤福居町3317
 tel: 0595-24-7612, 090-9226-1526
 fax: 0595-24-7613 セタ表: 中盛 汀

地球温暖化!!
 地球温暖化防止のため、CO2削減を心がけよう。エコ生活を実践しよう。

12体のつづき
 今月のテーマは「まちづくり」。この言葉の中にあふにまわっている気持ちも、とにかくまちづくりをテーマに、たっぷり語りあいませんか? 私たちの中にある力をとりよせて、まわりに伝えたい!!
9月13日 19:00~21:30

よさずのつづき
 毎日の生活の中で、なにか問題などありませんか? また、出しあえる場所、ありますか? いまは、ジャンルの人が集まれば、いままのアドバイスや体験談もきけるかもぜひご参加下さい!
9月27日 19:00~21:30
 伊賀県庁 4F さあ!

お口の報告
 7月後半と8月前半は日程が合致してまたまた2人。でも、普段は力をあわせても話さない話題がなにかも出て、ゆくり時向をとりあうことにはちゃんと興味があります!! 楽しい時間でした。時向に追われるばかりではなく、のんびりゆとりしにきて下さいね。まっています!!

2号館の看板取りました。たよとすまくできたかも。また、お口のつづき、ぜひお話し下さい!!

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。With A Will代表の名島さんが紹介して下さったのは、久居市で子育て支援の活動をされている佐橋さん。子育て支援の内容や今後のNPOと行政の関係など興味深いお話が聞きました。

「どんど」を信頼してもらうために…

……NPO法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど(以下「どんど」と略)の活動内容を教えてください。

「子どもの健やかな育ちを支援する事業」と「子育て家庭を支援する事業」という二つの事業を柱にしています。前者は子どもの居場所づくりのためのイベントなど体験型のものが多く、一方はサークル活動などお父さん、お母さん中心。未だに「どんどって何?」と思われるのが実際なので「子どもたちのことをきちんと考えてくれる団体らしい」と知ってもらい、信頼を得るための仕掛けづくりをしている途中と、言いながらもう4年経った(笑)。おまけに代表が丸刈りだから久居の人たちに怪しいと思われるかもしれません(笑)。

……職業が住職さんだと知れ渡っているから大丈夫でしょう? どんどの説明をしにいった後、お母さんたちの反応が「あの人、仕事してないのやろか」だったことも(笑)。いっそ作務衣着ようかな。……現在、どんどの規模は?

正会員、賛助会員、個人、団体を併せて70人ぐらいです。……70人全員が動いているのですか?

経済的にサポートしてくれる人もいれば、イベントなどで動いてくれる人も。メンバーもみんな昼間は勤めていますから、夜のミーティングに必ずしも集まれるわけでもないですしね。僕にしても一緒にやってきたメンバーが欠席がちになると歯がゆい部分はありますが、それでも継続的に来てくれるから、そこにきちんと目を向けた言動やつきあいをしたいと思っています。

……法人設立して落ち着いたということもあるのでは? 認証の時点でみんなクールダウンして…(笑)。それまでは夢だったのが、認証後は現実と直面することになって。もちろん、それ以降も夢を見ているんだけど、リアルな夢って感じです。

子どもたちを取り巻く危機的状況

……どんどを始めたきっかけは? 僕も含めて設立メンバーが福祉施設の職員だったので、入所型施設で生活している人たちを見て、「本当にこれでいいの?」と思ったところからスタートしました。別に施設を否定するつもりではなく、受け皿があれば、自宅で生活ができるんじゃないかと。児童養護施設

特定非営利活動法人
久居市子育て支援ネットワークNPOどんど 代表



佐橋俊美 さんに聞く

から垣間見た地域福祉、児童福祉の現状がきっかけですね。……児童養護施設とはどういう施設ですか?

家庭に複雑な事情があったりして、現状では親と一緒に暮らすのは難しいだろうという、2~18歳までの子どもたちが生活しています。……学生時代から児童福祉分野に興味があったのですか? 全然(笑)。イメージは漫画の「タイガーマスク」に出てくるちびっこハウスのお兄さん(笑)。僕は一人っ子で、可愛がられるのは好きだけど、可愛がるのはやり方がわからないという青年でした。それがなぜ、可愛がる方に自分から進んだのか、今でもわからない(笑)。

……今思うと児童福祉施設というのはいい選択だったのでは? 自分でもそう思います。真面目なことを言いますけど、僕がやっていることは「生まれてきた一人の人間の命の尊さを、誰がどうやって、きちんと見守って、その人らしく人生が過ごせるのか?」それに尽きます。子どもだろうが、障害者だろうが、年寄りだろうが、自分だろうが大切なのは一人ひとりの命の尊さ。それは施設の子どもたちからのメッセージに繋がっていると思います。

……児童福祉施設で「これだ!」と思うモノに出会ったのですか? 子どもたちの笑顔とか、涙とか、目とか、大人につっかかってくるエネルギーとか。それらの魅力は捨てがたいと今でも思います。……子どもたちの様子はどうでしたか?

施設に来たことを納得していない子もいれば、事態を飲み込んで前向きに生きている子もいる。いろいろです。子どもたちの方がある意味、僕らよりもうんと苦労していますからね。そんな彼らに対して可哀想だとか、気の毒だという目線で見たつもりは無いんですけど。……そんな社会状況を見て、誰が悪いのか犯人探しをすることがありますが、佐橋さんの視線にはそういう部分がありませんね。誰が悪いと探すよりも、状況のケアの方が先だと思うんです。例えば子どものケンカにしても怒るよりも、ケガした子の手当が先でしょう。もちろん、そこは役割分担でしょうけど、最近は後者が忘れ去られているように感じて。例えば子どもの虐待。あまり、どんどの活動として公に言うてはいないのですが、僕は虐待された子どものSO Sを受け止める支援が本当はしたいんです。

……なぜ、公にしていないのですか?

「どんどは虐待防止のために動いています」と言えば、それは一つの防止策になるでしょうが、人間というのは時に無責任な噂を流すでしょう?どんどの車が止まっているのを見かけただけで「何?」「どんどは子どものトラブルを何とかする団体らしいわよ」なんて…。……子育て支援と言うと、お母さんの支援と思いがちですが…。どんどとしては、その活動にも力を入れていますけど、底辺に流れているのは本当に応援が必要な子どもや家庭への支援なんです。もちろん児童相談所や行政の窓口などもありますし、そちらも重要なポジションですが、「どんどにも一度行ってみなよ」と言ってもらえるような団体になれたらと思っています。

……非常に複雑な部分に飛び込もうとしているように思えますが? どう受け取られるかわからないけど、どんどは福祉とか、サービスの押し売りはしたくないんです。「本当に必要なら来て」と。待ちの姿勢と言われるかもしれないけれど、余計なおせっかいはしたくない。……先方が声をかけてくるまでニーズがわからないのでは? あぶり出す作業はいると思うんです。その仕掛けの一つがイベントで、「どんどという団体がありますよ」と呼びかける。またイベントを通

じて子どもたちや、子育て家庭の支援をすることで連絡網や情報のネットワークを作っているんです。

……これまでの事例などはありますか？

人からの紹介や、チラシを見て来てくれるのですが、内容が重くて話を聞いても、ここでは何もできないという状態なんです。問題そのものの具体的な解決策は出せなかった。でも話を聞いてもらっただけで良かったという人もいます。だから、問題が大きくなる手前のところで、解決する方法があったんじゃないかと。それこそ「あれ？少し変だな」と思った時に気軽に話ができるような関係をつくりたいというところから、乳幼児対象のイベントを行っているのです。

目についてのことに対してすぐに動けるという自由性、自発性はNPOにしかできないような気がします。

……佐橋さんは今の子どもたちは危機的状況にあると思いますか？自分の子ども時代を押しつけれたり、美化するつもりは無いのだけど、今の子どもを見ているともとのびのびしていいんじゃないの？とは思いますが。普通の家の子が塾などで帰宅が夜の10時なんて、そこまでしなくちゃいけないのかなあ。一方で、夜遅くまで親が帰ってこなくて、暇な子ども同士が集まっている。そういう社会に対しての危機は感じます。社会的弱者なんて言われるけど、子どもは知らず知らずのうちに、そのしわ寄せのなかで生きているわけでしょう。もちろん、そんな甘いことを言っていたら、今を生き抜く子どもは育てられないという考え方も一理あるとは思いますが。でも、少なくとも虐待、いじめがこんなにニュースになるのは危機でしょう。

NPOと行政が手を繋ぐ

……どこの活動内容を一口で説明しようと思うと難しいですね。どんどを設立する前から行政に話しても「それは児童福祉なのか、障害者福祉なのか、不登校なのか、何がしたいのか？」と言われて、「いや、全部だ」と言うんですが、なかなか理解してもらえない。行政は縦割りが明確ですけど、人間が成長していく場面ってそうじゃない。部分的には確かに児童福祉と言えるけれど、そこには親の問題や社会の問題、学校など全部が絡んでくるわけでしょう。

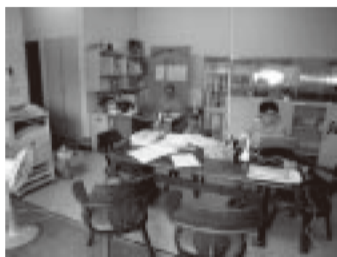
……行政ではなく、NPOだからできることとは何だと思いますか？やっぱり、自由に動けることでしょう。中立公平でなくてもいいし、目についてのことに対してすぐに動けるという自由性、自発性はNPOにしかできないような気がします。もう一つは得意を持ち寄ること。NPOは自分たちの持てる時間、持てる力を持ち寄って、町を、また自分たちの生活を支えようというところ。ある課題のために、持ち寄った得意をいかすのはNPOにしかできないことじゃないかな。

……行政とNPOが上手く繋がるために必要なことは？

行政がNPOとコラボレーションしようという時、どこまでその団体、あるいは趣旨を理解、認識しているかというのは問われる部分でしょう。僕が思うに、行政とNPOの棲み分けが必要。あと大事なものは、町にとって何が必要なかということが、お互いの了解事項にできていることでしょう。コラボレーションを実施しようと思ったら、なおのことね。町の主役は行政でも、NPOでもなく、そこで生活している人だと僕は思っています。

……他のNPO団体と繋がることは意識していますか？

気持ちはあるけど、まだまだどんどを自分たちで支えるのに精一杯というところ。あと、僕はNPOの佐橋ではなく、どんどの佐橋でいたい。いろんなところから声をかけていただいたりもするのだけど、N



事務所の様子。

PO同士のコーディネートは僕が進んでやりたい部分ではないわけです。もちろん、子育ての充実という面から他の団体さんと手を繋ぐことに対しては積極的にやっていきたいと思っています。

子育てキャラバン事業とは…

……現在、県からの受託事業に取り組んでいるそうですが？

子ども家庭チームから受託した『地域子育てサポートシステム基盤整備事業』で、『子育てキャラバン』という愛称をつけました。こちらからは「こうすれば良いものができるのでは？」「よそはこんな取り組みをしていますよ」など情報を紹介しながら、各市町村の職員さんと、町の人々と一緒に子育てのサポートシステムをつくりあげていく事業です。

……いくつかの市町村をピックアップするのですか？

事業単位が3年なので、最終的には69市町村すべてに。ただ、当初は県民局単位で5カ所からスタートというところですよ。

……実際にどのように活動していくのですか？

研究会という名前で、こちらから事前に文書やアクションを起こして、関係者この指止まれ方式で徐々に広げていく予定です。初年度よりは2年、3年と広げていければと思っています。

……ポルタひさい1階にオープンしたのは？

基本的にはキャラバン事業の事務所。でもまあ、それ以外にも情報コーナーなどを設けて、ぶらっと入ってきてもらって、情報を仕入れたり、おしゃべりできればと思っています。これもキャラバン事業でつくるシステムの一部です。

……これからのどんどの方向性は？

お腹の中の赤ちゃんから18歳までを子どもと考えると、その子育て支援なんて大風呂敷を広げてはいるけれど、いつもいつもすべてをカバーできるかと言えば、絶対にできない。ならばそれらを視野に入れて、できることをコツコツ続けることだろうと。継続性は本当に大事なんだと最近思います。辞めてしまえばそこまででしょう。

……NPO法人として続けることの重要性は？

NPO法人の場合、いかにそれが社会のモノであるか、公益性を伝えていくことが大事だと思います。今、NPO法人として活動はしているけれど、まだまだ個人あるいは有志の団体としか見られていませんし、内容も個人的な繋がりで活動している部分が多いですから。僕個人としてはもっと現場で動きたいという思いがあります。でも、そのためには事務部門がきちんとしていないといけませんから。事務と現場は両輪だと思っているので、どうしても僕は事務にウエイトを置くことになって、口ばかり達者になっちゃう(笑)。

●
特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど
住所/514-1118 久居市新町3006番地ポルタひさい1階
Tel.059-254-6080 Fax.059-254-6090

佐橋俊美さんはこの人を紹介します。

前出健太郎さん

森林と人とのより豊かな係わり合いを考える「ボランティアセンター・ラブリーフォレスト」の代表。「マッチョマンな研究者ですよ」とは佐橋さんの弁。

お
ね
が
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。

R100

PRINTED WITH SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。



ポルタひさいに新しくできた事務所です。